

大豆技術情報(第4号)

令和3年10月
富山農林振興センター
富山市農業協同組合

まもなく大豆の収穫時期となります。
「黄葉期」や「落葉期」を基に「成熟期」を予想し、莢の90%以上が褐色になった頃(子実水分22%)を確認してから収穫を始めましょう。

刈取始期の判定

～褐色莢の割合で生育ステージを確認～

- ・ ほ場毎に成熟期の目安をつけ、作業計画を立てましょう。
- ・ 莢の熟色を確認し、**莢の90%以上が褐色になった頃(子実水分22%)**から刈り始めましょう。

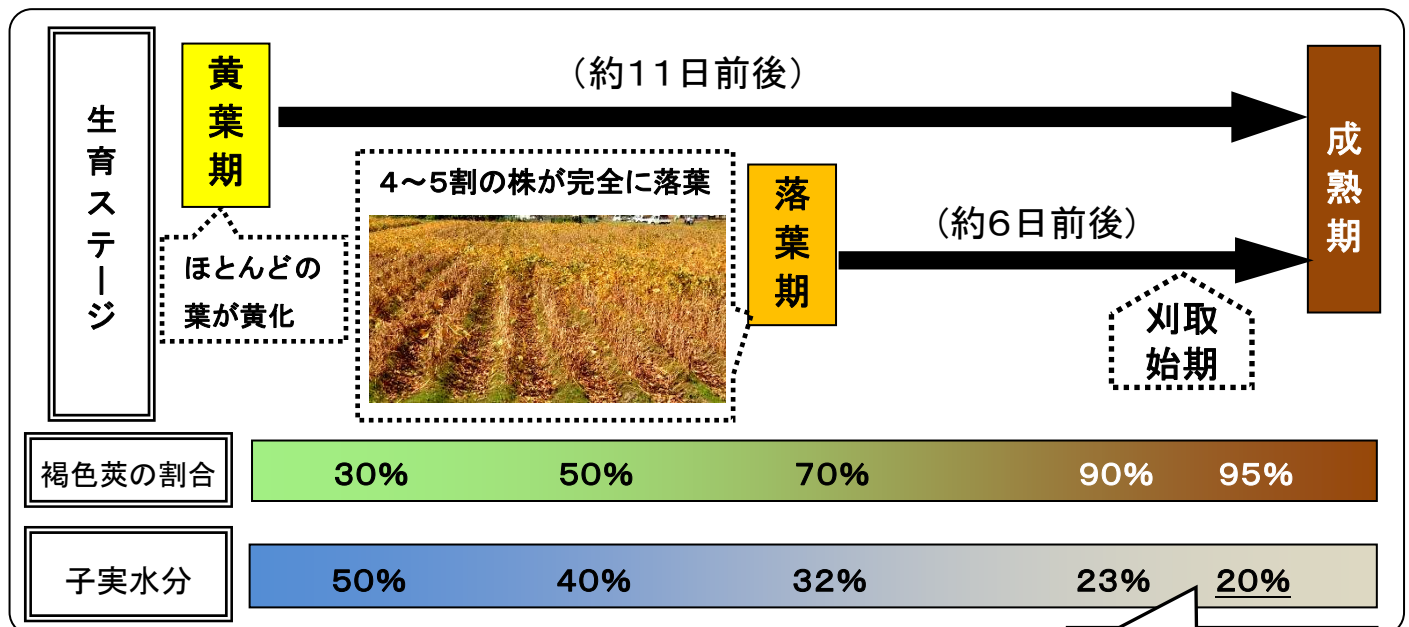
「えんれいのそら」の収穫時期の目安

表 刈取始期の目安(えんれいのそら)

刈取始期
10月7日頃～

※“えんれいのそら”と比べて、“シュウレイ”は4日、“オオツル”は11日程度遅くなります。

※成熟期は、播種時期や生育量により異なるので、必ずほ場ごとに生育ステージを確認しましょう。

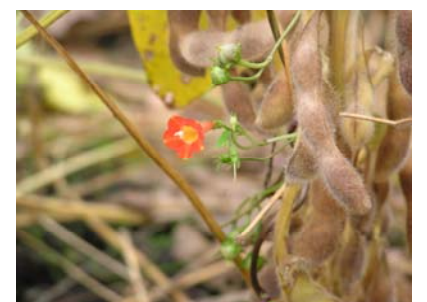


刈り遅れると、しわ粒や腐敗粒が増加します。
茎の色が褐色になっていなくても、**莢色を優先して**収穫してください。

しわ粒軽減のため
22%から刈り始め

収穫作業

- ・ 汚損粒防止のため、**収穫前に帰化アサガオ類やイヌホオズキ等の大きな雑草や青立ち株を必ず抜き取る**とともに、土をかき込まないように刈取り高さは地際から10cm程度に調整しましょう。
- ・ 収穫は、**午前10時～午後4時**を目安とし、**莢が乾いていることを確認**してから行いましょう。
- ・ **作業速度は0.4～0.8m/秒(2.9km/時)程度**とし、大豆の生育量が大きい場合は、更に速度を落とすなど、コンバインのつまりを防ぎましょう。
- ・ 黒根腐病が発生したほ場は、病害の蔓延を防ぐため、収穫を最後にするか、別刈りにしましょう。また、収穫作業後は、コンバイン等についた土を他の圃場に持ち込まないように、足回りの洗浄を徹底しましょう。



帰化アサガオ類



イヌホオズキ

次年度対策

① 土づくり

- ・ 近年の収量低迷やしわ粒の発生などは、地力の低下も大きな要因と考えられます。
鶏ふん等の堆肥の施用や緑肥作物(ヘアリーベッチ等)の作付け・すき込みにより、収量や品質の向上を図りましょう。
※ヘアリーベッチの播種は、10月上旬までに行うとともに、しっかりと**排水溝を設置**しましょう。

② 排水対策

- ・ 次年度の作付予定地は、地表からの排水を促すため、年内に**額縁排水溝を設置**しましょう。

<秋の農作業安全運動(8月20日～10月20日)実施中>

◎**収穫作業時の安全確保** ・衣類が巻き込まれないよう、袖口や裾が締まった服装を着用する。
・後進時には、死角が多いので補助者による誘導や確認を行う。

◎**トラクターを運転する際はシートベルトを着用しましょう!**